

会 報 <<第388号>>

次代を築くヒューマン・ネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成30年 2月1日

<<目 次>>

- I 平成30年新春会員交流会(第461回月例会併催) ……2~7、11頁
開催日 平成30年1月11日(木)
- 開会
副会長 大木 弘恵 …… 2頁
 - 祝賀演奏
 - 挨拶、祝辞 ……3~4頁
会 長 瀬戸本 淳
兵庫県副知事 荒木 一聡氏
兵庫県まちづくり部長 水埜 浩氏
神戸市住宅都市局建築技術部長 井垣 昭人氏
 - 乾杯、交流会 ……5~7、11頁
兵庫県副知事 荒木 一聡氏
 - 謝辞
副会長 石田 邦夫 ……6頁
- II 寄 稿 ……8頁
神戸秘話第6回 『シネマのために生まれた男 映画監督 舛田 利雄』
会 長 瀬戸本 淳
- III 会員寄稿 ……9~10頁
鉄道秘話第8回 『ひょうごのナニコレ珍百景・和田岬と神戸市電』
(株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏
- IV お知らせ ……10、12~14頁
花だより、行事案内、事務局だより、広報コーナー

今月の花だより
南あわじ市：黒岩水仙郷『水仙』
淡路市：花さじき『菜の花』



黒岩水仙郷の
水仙(遠景は沼島)
村上利明氏提供

I 平成30年新春会員交流会

開催日時：平成30年1月11日(木)17時30分～20時
会 場：神戸三宮東急REIホテル

1 開 会

開会の言葉 副会長 大木弘恵



平成30年の新春交流会が、120名の来賓、会員に出席いただき盛大に開催されました。

はじめに、大木弘恵副会長から『皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。』

新年早々の大変お忙しい中、また、荒木副知事様はじめ兵庫県、神戸市の幹部の皆様、関係団体のご代表の皆様、そして当会会員・特別会員の皆様には、平成30年新春会員交流会に、このように会場満席のご参列をいただきまして、まことにありがとうございます。

皆様のお蔭をもちまして、建築会は、昨年70歳を迎えることができました。そして、今日、71歳の新たなスタートを迎えることになりました。まずは、新春の祝賀演奏により祝いたいと思いません。

皆様には、最後までご歓談いただきますようによりよろしくお願いいたします。』との開会の言葉により交流会がスタートしました。

今年の交流会は、70周年に引き続き祝賀の演奏を披露し、また兵庫県芸術文化協会、ピッコロシアター及び東急REIホテルから多大の貴重なご寄贈をいただいたことから、これを抽選等により出席の方々に贈呈する等盛りだくさんに行われました。

なお、挨拶、ご祝辞は要旨で掲載しました。

2 祝賀演奏

マリンバ奏者：間瀬 尚美氏、越川 雅之氏



第1部として、マリンバ奏者「間瀬尚美氏」とマリンバ・カホーン奏者「越川雅之氏」による新年を祝う演奏が行われました。

演奏曲目

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 トリッチ・トラッチ・ポルカ | シュトラウス |
| 2 リベルタンゴ | ピアソラ |
| 3 チャルダッシュ | モンティ |
- アンコール曲 愛の賛歌



間瀬 尚美氏 (ませ なおみ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業 同大学特別専修課程修了、平成26年度神戸市文化奨励賞、平成28年度兵庫県芸術奨励賞等受賞

現在神戸女学院大学、大阪音楽大学等講師

越川 雅之氏 (こしかわ まさゆき)

京都フィルハーモニー室内合奏団打楽器奏者

京都市立芸術大学音楽学部卒業

現在神戸山手女子高等学校音楽科講師

挨拶
会長 瀬戸本 淳



会員の皆様、ご来賓の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年の建築会創立70周年の記念式典同様に多くのご来臨を賜わり本当にありがとうございます。

皆様には、お健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げ、輝かしい年の始まりを祝したいと思います。初詣では、家内安全と兵庫県建築会の繁栄と発展を祈願してまいりました。参詣者の皆さんには、景気の動向も反映してか、明るさが漂っていました。

今年の干支は「戌」で、犬と人間のつながりは数万年前からとも言われ、従順で、決して裏切らないということから、大変親しみのある干支の年にあたり、穏やかさが漂っているという感じがしております。

今年こそ平和で明るい社会になるよう期待したいところでございます。

昨年は神戸開港150年と当会の創立70周年、そして今年は兵庫県政150周年という歴史的な節目で、皆様とともに迎えることができましたことは、まことに喜ばしいことと思えます。

兵庫県建築会は、次の80周年に向け、皆様とともに、地域の安全・安心、幸せを生む建築文化の発展に寄与するため、ヒューマンネットワークを大切にして、仲よく、楽しく、大いに夢を語り合い、兵庫県建築会を発展させていきたいと考えております。

今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

祝辞
兵庫県副知事 荒木 一聡氏



新年明けましておめでとうございます。

建築会の新年交礼会が、盛会に開催されますことを心よりお慶びを申し上げます。

知事が出席してのご挨拶が本意ですが、別途用務があり出席が叶いません。お許しをいただきたく存じます。

また、昨年は県政の重要な年でしたが、皆様の力強いご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

今年には県政150年、太平洋戦争の終戦から73年の折り返しの時期を迎えていることから、県政の改革を進めてきました。少し明かりが見えてきたところで、引き締めて目標を成就したいと思っております。

今年には節目の年であり、先輩方が刻んできた教訓とういったものを改めて学び直し、そして現状の課題を踏みしめ、今後の兵庫の新しい時代を切り拓くことが私どもの責務だと思えます。

私ども現職におきましては、そのような場に置かせていただくことを、本当に感謝とともに、その重要さにつきまして痛感をさせていただいております。

(引き続き 乾杯へ)



祝 辞
兵庫県まちづくり部長 水埜 浩氏



新年明けまして、おめでとうございます。
日頃は、私ども兵庫県政、とりわけまちづくり行政にご理解とご支援を賜り、感謝を申し上げます。

さて、兵庫県政にとっては創立以来150周年の記念すべき年で、その祝賀行事のメインの記念式典は、誕生日の7月12日に盛大に祝賀行事を行うとともに、各種の記念行事が、この1月から来年の3月までいろいろと繰り広げます。

その中で、県民連携行事として、各種団体が行う行事、シンポジウム等に「150周年記念」として開催していただけると補助金が出る制度もあります。71年の歴史を誇る建築会におかれても、ぜひ提案をいただければと思います。

我々としては、この節目を期して、150年のまちづくり・建築の歴史を振り返り、将来、未来に向けて兵庫のまちづくりを展望したいと思っています。

我々の行く手には、全世界が経験したことのない急速な人口減少社会が待ち受けており、そして、未曾有の少子高齢社会が大きな課題となって立ちふさがっています。

ただ、振り返れば、150年前は、鎖国から西欧文明の受け入れと共生のまちづくりであり、当時は未体験の未曾有のプロジェクトでした。

戦後の復興期には、建築会にも大いに貢献をしていただきましたが、焼け野が原からのゼロからのまちづくり、これも未曾有の取り組みでした。そして、阪神・淡路大震災からの復旧・復興、これも前例のない取り組み、事業の数々の積み重ねでした。

これらをしっかりと振り返り、先人に学びながら、新しいまちづくりを展望し、新たな第一歩を踏み出す1年であると考えています。

今後とも県政へのご協力、画期的なご提案をいただければ幸いです。

最後に、建築会の今後ますますのご発展、そしてお集まりの皆様方のご健康でのご活躍をお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。

祝 辞
神戸市建築技術部長 井垣 昭人氏



新年明けましておめでとうございます。
今日は、年末から新年にかけて考えたことを少しお話させていただきます。

私は、工学部建築学科の出身で、若い頃は日本で育ったエンジニアとしての仕事を誇りに思っていました。しかし、最近「技術立国日本はどこに行ったのか」と思うことが多くなりました。建築の世界では、耐震偽装に始まり、杭や耐震ゴムの問題が発生し、自動車業界や金属製品でも検査の問題がクローズアップされ、ベーシックな技術がなおざりにされていることに非常に不安を持っています。

「不安な個人・立ちすくむ国家」という経産省の若手の有志によるレポートでは、真摯に日本の過去と将来について憂えています。今のシステムは、昭和60年代に完成されたシステムのまま、それ以降何も進化していない現状に、日本の将来をどうするかを提案するレポートで、真剣に考えている若い人もたくさんいるということがわかり、少しホッとしています。

我々のこの住んでいる建築界の中で、話題の一つは、若手の技術者が集まらない、若手技術者の技術力が相対的に低下してきているということ。二つに3K、4K、5Kの業界で、就職説明会でも設計事務所や建設会社のグループには余り人が来ないということ。この業界のシステムも旧態依然としているのかと思っています。

市役所の建築の組織も同様で、若い世代に叱られないためにもどうしたらいいのか年末年始に一生懸命考えました。工事の発注の平準化、発注方式の多様化、設計工期及び工事工期の確保、週休2日制の導入等を検討し、予算要求等のうえ取り組んでいきます。再来年ぐらいに実現したいと考えており、微力ながら責任を持って取り組んでいきたいと思っています。

また、若手の育成、技術力の向上の働き方改革についても、力を尽くしてまいりたいと思いますので、皆様方の応援をよろしくお願いします。

乾杯・祝宴
兵庫県副知事 荒木 一聡氏



祝辞に引き続き、荒木副知事のご発声により、新年を祝い恒例の日本酒による乾杯が行われ、祝宴が始まりました。

『ご参会の皆様方、この建築会のますますのご発展と、そして御社御社、一社一社のご繁栄と、そしてお集まりの皆様のご家族ともどものご健勝にてのご活躍を祈念いたしまして、僭越ではございますけれども、乾杯の音頭をとらせていただきますので、ご唱和をよろしくお願いいたします。

建築会のますますのご発展を祈念いたしまして、また、この年が、皆様にとりましてすばらしい年であることを祈念いたしまして、乾杯をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

乾杯！ ありがとうございます。』

副知事にはご多用の中を当会の交流会に駆けつけていただき、休む間もなく祝辞とともに乾杯のご発声までいただきました。厚く御礼申し上げます。



本年の新春交流会には、兵庫県立芸術文化協会、ピッコロシアター及び東急REIホテルから多数のプレゼント品をご寄贈いただきました。

これは、次のとおり抽選、じゃんけん勝ち抜けにより会場の皆さんに贈呈しました。ご寄贈の各団体様には厚く感謝申し上げます。プレゼンターは小南副会長です。

- 1 横尾忠則現代美術館「横尾忠則HANGA JUNGLE」入場券を抽せんにより10名へ
- 2 神戸三宮東急REIホテルレストラン「シャングリラ」食事券（5000円）を抽選により2名（兵庫建通、大阪ガス様へ）
- 3 兵庫県芸術文化協会「豊島泰嗣ヴァイオリンリサイタル」ペア入場券をじゃんけん勝ち抜けにより5名（黒田建築設計、オフィスナウ、大木工務店様他へ）
- 4 兵庫県芸術文化協会「森井美貴ソプラノリサイタル」ペア入場券をじゃんけん勝ち抜けにより5名へ（兵庫県園芸公園協会、林建設、家根源、山本設計様へ）
- 5 ピッコロシアター・ピッコロ劇団「マルーンの長いみち」ペア入場券をじゃんけん勝ち抜けにより2名へ（兵庫県設計監理協会、新井組様へ）

東急REIホテル・シヤングリラ食事券



ピッコロシアター:「マルーンの長いみち」入場券



兵庫県芸術文化協会：
「豊島泰嗣ヴァイオリンリサイタル」入場券



兵庫県芸術文化協会：
「森井美貴ソプラノリサイタル」入場券



謝辞・お開き
副会長 石田 邦夫

プレゼントの後、石田邦夫副会長から謝辞があり、一本締めで交流会はお開きとなりました。

『今日は、兵庫県建築会の新春会員交流会に、多くのご来賓の方、会員の皆様、お集まりくださりまして、本当ににぎやかな交流会になったなあと思っております。

宴は、いつか終わらなければいけませんけれども、次の宴に向けてとりあえず終わりたいと思います。

それと、先ほどのプレゼント、当たった人、私を含めて、おめでとうございます。当たらなかった人は、当たらなかったのと違うんです。まだ当たってないんです。まだ当たってない。これから大きな大きな福があると思います。

それでは、兵庫県建築会の今後のますますの発展と、ここにいらっしゃる皆様方のよき年になるように願って、一本締めで締めたと思います。どうぞよろしくお祈りします。(一本締め)

どうもありがとうございました。』



来賓ご芳名（敬称略）、交流風景（1）

兵庫県副知事		荒木一聡	松
兵庫県県土整備部	まちづくり部長	水埜 浩	松
兵庫県県土整備部 県土企画局	局長	成岡英彦	松
兵庫県県土整備部 まちづくり局	局長	出野上聡	竹
兵庫県県土整備部 住宅建築局	局長	奥原 崇	竹
（公財）兵庫県芸術文化協会	理事長	山本亮三	松
兵庫県住宅供給公社	専務理事	飯塚功一	梅
兵庫県住宅供給公社	常務理事	竹田 茂	梅
（公財）兵庫県住宅建築総合センター	業務執行理事	山口一郎	梅
（公財）兵庫県園芸・公園協会	花と緑のまちづくりセンター長	石原憲一郎	竹
神戸市住宅都市局 建築技術部	部長	井垣昭人	松
神戸芸術工科大学	名誉教授	坂本勝比古	梅
兵庫県工業高等学校長会 （兵庫県立兵庫工業高等学校）	会長（校長）	大川真澄	梅
（公社）兵庫県建築士会	会長	高橋伸明	松
兵庫県建築設計監理協会	副会長	柏本 保	松
（公社）日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会	会長	長尾 健	松
（一社）兵庫県空調衛生工業協会	会長	山口敬三	竹
西日本建設業保証（株）兵庫支店	支店長代理	吉田健太郎	福
兵庫県県土整備部 まちづくり局 都市政策課	課長	西谷一盛	福
同 上	計画調整参事	柏樹容子	福
同 上 景観形成室	室長	田野万治郎	緑
同 上 土地対策室	室長	森田智裕	緑
同 上 市街地整備課	課長	柴田和弘	緑
兵庫県県土整備部 住宅建築局 住宅政策課	課長	藪本和法	緑
同 上 公営住宅課	課長	福本慶浩	緑
同 上 建築指導課	課長	藤井 望	寿
同 上 営繕課	課長	朝倉一晃	寿
同 上 設備課	課長	古川詞朗	寿
兵庫県住宅供給公社 住宅整備部	部長	福澤静司	寿
神戸市住宅都市局 建築技術部	建築担当部長	奥村由和	竹
同 上 技術管理課	課長	上田真己	福
（一社）兵庫県建築士事務所協会	事務局長	幸村哲朗	福
（一社）兵庫県電業協会	専務理事	高坂一生	福
（株）日刊建設工業新聞社 大阪支社	企画部 部長	武田吉紀	花
（株）日刊建設工業新聞社	記者	鷲 佳宏	花
（株）日刊建設通信新聞社 関西支社	編集部 課長	折田雄平	花
兵庫建設新聞社	記者	酒井正人	花
（株）兵庫建通	代表取締役	清水 隆	花
建通新聞社 大阪支社 大阪支局	支局長代理	堀場達成	花



テーブル 松



テーブル 竹



テーブル 梅



テーブル 福



テーブル 緑



II 寄稿 神戸秘話第6回 『シネマのために生まれた男 映画監督 舛田 利雄』 会長 瀬戸本 淳

私たちが幼いころは、銀幕の黄金期だった。その時代に日活の「天皇」とよばれた舛田利雄は、実は神戸の出身だ。

舛田は1927年、船乗りの子として神戸で生まれた。神戸一中（現在の神戸高校）の46回生で、同期には旧みどり銀行頭取や神戸経済同友会代表幹事などを歴任した米田准三らがいる。卒業後は新居浜工業専門学校（現在の愛媛大学工学部）へ進学するも軍事教育に反発し退学、その約1ヶ月後に終戦を迎え、大阪大学外語学校（現在の大阪大学外国語学部）へ入学、やがて映画に魅せられて上京する。

1950年に新東宝でキャリアをスタート、程なく日活へ移籍して1958年に監督となり、3作目の石原裕次郎主演『錆びたナイフ』が大ヒット。石原作品を数多く手がけ、日活アクション映画の基本を築く。1968年にフリーとなると戦争映画などにも携わるだけでなく、アニメやアイドルなどジャンルを超越してヒットを繰り返した。

印象深いのは石原裕次郎主演『赤い波止場』だ。1958年頃の神戸のシーンが多く出てくる。

メリケン波止場、南三井商船ビル、諏訪山、国際会館、神戸新聞会館など、モノクロだが懐かしい風景が彩り、神戸外国倶楽部の前からトアロードを見下ろして物語が終わる。そのリメイク版ともいえる渡哲也主演『紅の流れ星』は1967年頃に神戸で撮影され、朝日生命ビル、京町筋、県庁北の歩道橋、水上警察、摩耶大橋、さんちか入り口などのシーンがあり懐かしい市電も健在だ。カラーなのでいきいきと昔の神戸が蘇る。

石原裕次郎は神戸生まれ、渡哲也・渡瀬恒彦兄弟は淡路の出身だ。ほかにも神戸出身の杉良太郎、神戸高校出身の高島忠夫など、舛田映画には兵庫ゆかりのスターも多数出演。

『首都消失』の原作小松左京は神戸一中のOBで『俺の血は他人の血』の原作の筒井康隆も神戸にゆかりがある。ちなみに『宇宙戦艦ヤマト』の脚本藤川桂介氏は私と親しく、そんなことから舛田映画に親近感を覚える。

舛田は自己の体験に立ち自分に相応しい最上の方法で80以上の作品を創っていたが、その広さ、深さにびっくりさせられる。刻々の映像の展開が人々に感動を、生きる喜びを与えていった。アウトローを身上としつつ、使命より使命へと身を捧げる充実した映画人

生を送った。戦時中から戦後間もない頃の貧しく苦しい日本の社会は、大いに人々を幸せな気分させる人と能力を求めている。そしてその人には活躍すべき自由の天地が待っていた。舛田はそんな見たこともない境地において、全身全霊で奮闘し、人々のために真剣に働いた。自身の身を殺しても取り組んだからこそ、自由の真理を知る偉大な監督になったのだ。

対話集を読むとわかるが、企画・原作・脚本・撮影・美術・音楽その他のスタッフや出演者たちと愛の大きさ深さが見えてくる。すべての人を愛し、感謝していた。本当に愛の人だ。舛田映画に不朽の名作は数知れないが、彼そのものが造化の傑作である。



渡哲也(中央)、浜田光夫(右)に演出指導する舛田利雄(左)
写真/「無頼」より大幹部 ©日活

舛田 利雄(ますだ としお)

映画監督

1927年、兵庫県生まれ。大阪外国語大学(現・大阪大学外国語学部)ロシア語学科卒業。1954年に新東宝に入社し、後に日活に移籍。助監督を経て1958年『心と肉体の旅』で監督デビューを飾る。日活アクション映画全盛期に石原裕次郎や小林旭主演のアクション作品を多く手がけ「日活の舛田天皇」とも言われた。代表作に「闘牛に賭ける男」、「太陽は狂っている」、「上を向いて歩こう」、「花と竜」、「太陽への脱出」、「赤いハンカチ」、「人生劇場」、「赤い谷間の決闘」、「嵐を呼ぶ男」、「対決」、「大幹部」、「あゝひめゆりの塔」、「トラ・トラ・トラ」、「さらば掟」、「人間革命」、「二百三高地」などがあり、作品数は80以上にのぼる。

※ 敬称略

※ 神戸高校鵬友会『鵬友』、シンコーミュージック・エンターテイメント『映画監督 舛田利雄』などを参考にしました。

《月刊神戸っ子 2017年11月号から転載》

Ⅲ 会員寄稿：鉄道秘話第8回

「ひょうごのナニコレ珍百景・

和田岬と神戸市電」

㈱岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏

ご存知、兵庫駅から分岐している山陽本線の支線である。和田岬線と聞いて皆様は何を連想されるでしょうか。

「三菱造船のためにある都会のローカル線」「知ってるけど乗ったことはない」「いつの間に電化されてたの?」「あれってまだあったの?」そんな和田岬線の名物といえば、沿線には**兵庫運河に架かる旋回橋**がある（現在は可動しないが）。

車両としては非電化時代は座席を撤去した旧型客車を前後ディーゼル機二両によるプッシュプル方式で運行していたし、客車をやめて気動車の運行になってからは片側ドアを撤去したキハ35の300番台が使用されていたなど、短時間の輸送に特化した専用車両を用いたところに興味深いものがあつた。

今回、過去の風景ですがこちらを紹介しよう。



フルノッチで専用軌道の跨線橋を駆け上り和田岬線を越える。この区間だけを見れば市電というよりインターアーバンとしての風格すら感じさせる。神戸市電全路線においても屈指のハイライト的な光景であった。ほかに跨線橋は明治橋（同様に和田岬線を交差したが国道2号線拡幅の為、後年に併用軌道に改修）、須磨天神橋（国鉄を交差するためであったがもとから国道2号線の併用軌道であった）が市電には存在した。

もちろん、現在この場所には市電の跨線橋があつたことを示す遺構は何一つない。神戸市電の功績と共にこの和田跨線橋の存在が評

価されたのか、1971年の廃線後、王子動物園には市電708号と609号（お別れ電車として石屋川線のフィナーレを飾った）のよき相棒として跨線橋のトラスの一部が保存されていた。粹な計らいであったが、後年2両とも解体され、保存されていた跨線橋諸共廃棄されている。

画像は王子動物園に保存されていた頃の**609号と跨線橋**である。

現役当時と対比頂きたい。



神戸市電には「神戸電車唱歌」が1910年の開業時に作られ、歌詞は40節にのぼる。歌詞は停留場沿線の風物を織り込んだものだが、この橋のあつた和田岬（34、35節目）をお目にかけてみましょう。

34「青松百砂の和楽園 海士のわざなる荻藻島夜の船路の標なる 灯台高し和田岬」。35「造船所には三菱の その名も高き浮船渠（どっく）かねて聞きたる鐘が淵 紡績会社西に見て」と記される。

和田岬は幕末期、一面砂浜だったところに和田岬灯台（現在、移築保存）と砲台（三菱重工内にて現存）が存在した。この歌詞にもある「和楽園」とは当時存在した遊園地で「水族放養場」は日本初の水族館とされている。

市電の和田岬停留場の地下が、現在の神戸市営地下鉄「和田岬駅」であるが、市営地下鉄海岸線の利用客は神戸市の予測を大きく下回った年間約4万人で推移しているという。神戸市とJR西日本の和田岬線存廃の見解は分かれている。しかし、JR西日本も黒字路線に廃止を求める理由はまったくな

いとしながらも、廃止は地元の総意を条件に検討するとしている。市電の生まれ変わりとして三宮～新長田を結び、地域の活性化に貢献する存在であるから、両者は全く素性の違う交通機関として併存を願う人は少なくない。

会社は異なり山陽電鉄だが、東二見の保線事務所の構内には往年の名車200系と舞子跨線橋の（鍊鉄製ピン結合のこの橋は舞子公園の西で国鉄をオーバークロスするため1917年～1987年まで使用されていた）一部が先述の王子動物園のそれと同じような体裁で保存されている。画像は、東二見に保存される山陽200系と、国道2号線拡幅に伴い併用軌道に改修される前の明治橋と神戸市電。



別アングルの和田跨線橋



国道2号線拡幅後の明治橋



今回は『今はなき鍛冶屋線』をお送りします。

IV 花だより (1)

菜の花 : 淡路市 花さじき
アイスチューリップ: 淡路市 明石海峡公園

強烈寒波襲来で久しぶりとなる黒岩水仙卿取材予定を変更し、近場の花さじきと明石海峡公園へ。“南国淡路では春近し”と言った表現はとても使えない寒風にさらされてのものでした。しかし、画像からは春の暖かさが感じられませんか？

早咲きの菜の花が20万本、もちろん本番の春には100万本が咲き誇ります。

アイスチューリップは、球根を低温処理して冬に開花するようにしたものです。数は多くないですが春の雰囲気醸し出しています。

なお、水仙は表紙及びお知らせコーナーにご協力いただき素晴らしい写真を掲載しています。



フユザクラ
開花時期:10月
～1月
(明石海峡公園)

平成30年新春会員交流会 交流風景 (2)



テーブル 雪



テーブル 月



テーブル 花



テーブル 金



テーブル 銀



テーブル 宝



最高齢の坂本勝比古先生には、お寒い中を今年もお元気に参加いただきました。

IV 花だより (2)

水仙 : 南あわじ市灘黒岩『黒岩水仙卿』



村上 利明氏提供(表紙同・南あわじ市阿万塩屋町)

○ 黒岩水仙卿は、日本水仙三大自生地(越前、千葉県鋸南町、南あわじ市)の一つで、諭鶴羽山系の裾野、45度の急斜面7haにわたって500万本の野性の一重咲きニホンスイセンが咲き誇っています。

1820年に海岸に漂着した球根を山に植えたのがだんだんに繁殖したとのことです。

(南あわじ市ホームページ参照)

写真は、陽光に煌めく穏やかな海と水仙の黄色のコントラストが見事です。

現地は、急峻な斜面の群生地を巡っての鑑賞となりますが、景観がそれに優りますので、歩きやすい履物で是非お運びください。

久しぶりの訪問ができず残念でしたが、何時もお世話になるまちづくりガーデナーの武本浩己氏、全日本写真連盟淡路支部長東原るび氏のご尽力で立派な写真を提供いただきました。ありがとうございます。水仙の開花は2月下旬ころまでありますので、天候の様子を見て、写真のような景色を確かめに行きたいと思います。

交通手段は、車では西淡三原ICから約40分ですが、シーズン中は南あわじ市福良からシャトルバスが運行されています。

現地情報は南あわじ市ホームページで参照を

www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/shoukou/suisenkyou.html

○ ところで、水仙の原産は地中海沿岸で、シルクロードを経て唐に渡り、水に住む仙女に喩えられて“水仙”の名が付いたようです。日本への伝来は平安末期とされ、今の群生地には大陸から海流に乗って漂着したものが根付いたと言われています。

(水仙 和歌歳時記より)

また、水仙と言えば団塊同年代はご承知の“七つの水仙”、ブラザース・フォーのヒット曲です。60年頃のフォークと言えばこの歌のようにゆったりと曲は流れ、歌詞にも共感し一生懸命覚えました。今でもCDでたまに聞く思い出の曲です。

IV お知らせ・事務局便り

◎行事案内

1 平成30年2月(第463回)月例会

日時 平成30年2月15日(木)
12時00分から14時00分

会場 西村屋和味旬彩

テーマ 再生可能エネルギーの現状と課題～あわじ環境未来島構想の現状について～

講師 真継 博氏

NPO法人低炭素未来づくりフォーラム理事兼事務局長

2 平成30年3月(第464回)月例会

日時 平成30年3月15日(木)
12時00分から14時00分

会場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 『笑う顔には福が来る』

講師 三遊亭 楽団治氏

ご案内中です。ご参加よろしくお願ひします。

3 役員会

日時 平成30年3月8日(木)

13時30分から16時00分

会場 神戸市教育会館403号

議題 平成29年度決算見込

平成30年度事業計画、予算案外

ご予約をよろしくお願ひします。

◎事務局だより

○寒中お見舞い

口を開けば「いやあ寒いですね」から始まる氷点下の朝が続きます。事務局の入る建設会館の駐車場のバリカーが凍結で下がらず、最寄りの有料駐車場へ緊急避難しました。この寒波の予測は既に去年の夏ごろには言われていました。黒潮の蛇行が要因となり、寒気が列島に流れ込み安くなるとのこと。加えてのロシアでのマイナス60度の大寒気団が影響したこともあります。シラス、サンマ、サバの不漁など生活への影響は大きく早く元に戻って欲しいですね。異常乾燥下、インフルエンザが猛威をふるっていますのでご注意を。

○世界終末時計

今年の発表で過去最短の残り2分に。1953年米ソの水爆実験成功以来とのこと。核戦争の脅威に加えて、今は気候変動、環境破壊も考慮されているようです。今回は、核戦争の懸念の高まりと米大統領の「予測不可能性」が理由とされています。TPPも正に予測できない事態です。

次はサプライズで1990年冷戦の終結時同様に4分は延長してもらいたいですね。隣国との関わりでもあり、この警鐘を真剣に考えないと。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー：三田建設技能研修センター

あなたのすばらしい技能を国が証明してくれます。

2018 **1級技能士** **資格取得講座** [通学制] [通信制]

先着順で受付!!

ネット予約も受付中!!

とび配管

鉄筋施工
型枠施工
とび
配管

土曜開講あります!

修了すると技能検定のうち**学科試験**が**免除**されます。

科目	募集定員	開講日・期間	受講料
鉄筋施工	30人	開講／平成30年5月16日 0月5日まで毎週水曜日(全15回)	36,000円(46,200円)
型枠施工	30人	開講／平成30年5月12日 0月8日まで毎週土曜日(全15回)	
とび	30人	開講／平成30年10月20日 平成31年2月9日まで毎週土曜日(全15回)	
配管	30人	開講／平成30年4月14日 0月9日まで毎週土曜日(全15回)	

科目	募集定員	開講日・期間	受講料
鉄筋施工	30人	開講／平成30年5月1日 平成31年2月まで毎月1回通信制(全9回) スクーリング 平成31年2月15日～17日(3日間)	39,000円(49,300円)
型枠施工	30人	開講／平成30年5月1日 平成31年2月まで毎月1回通信制(全9回) スクーリング 平成31年2月22日～24日(3日間)	
とび	30人	開講／平成30年5月1日 平成31年2月まで毎月1回通信制(全9回) スクーリング ①平成31年2月 1日～ 3日(3日間) ②平成31年2月15日～17日(3日間) ③平成31年3月 1日～ 3日(3日間)	
配管	30人	開講／平成30年4月1日 平成31年2月まで毎月1回通信制(全10回) スクーリング 平成31年2月22日～24日(3日間)	

☆受講料()内は、雇用保険に加入されていない場合の受講料です。
 ☆受講料には消費税が含まれています。消費税増税が発生された場合はそれに伴い受講料が改定されます。
 ☆先着順で受付し、定員になり次第受付終了します。
 ☆受講申込状況など最新の情報は当センターのホームページをご覧ください。

- 7年以上の実務経験があれば**1級技能士 技能検定にチャレンジ**できます!
- 通信制を活用すると、3日間のスクーリングの来所のみ。あとは**自宅**でOK!
- 1級技能士は**基幹技能者**となるための**前提資格**となります!
- 実技検定受検の対策として**実技検定受検前講習(鉄筋・とび・配管)**を開講するので安心!
- 助成金を活用すれば**更にお得!**

1級技能士(国家検定資格)とは?

技能検定は、働く人たちの持っている技能を一定の基準によって評価する国家検定制度です。1級技能士合格者には、「厚生労働大臣」の合格証書が交付され、1級技能士の称号が与えられます。なお、1級技能士資格を得るためには、学科試験と実技試験に合格する必要があります。当センターでは実技試験合格のための直前講習も行っています。

労働局長登録教習機関

三田建設技能研修センター

職業訓練法人 近畿建設技能研修協会

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘6丁目1番地 TEL (079)564-4745 FAX (079)564-6058

ホームページ/ <http://www.kensetsu-sanda.ac.jp> Eメール/info@kensetsu-sanda.ac.jp

広報コーナー：総合資格学院

1級建築士試験 学科試験も設計製図試験も「日本一」の合格実績

平成29年度 1級建築士学科試験 全国合格率4.346%中、総合資格学院が22.627% 合格率占有率52.71% 平成29年度 1級建築士設計製図試験 全国合格率3.365%中、総合資格学院が22.148% 合格率占有率65.71%

建築士合格をめざすなら圧倒的合格実績の総合資格学院で！

1級建築士試験

No.1

兵庫県
合格者占有率

平成29年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者 111名中
当学院現役受講生 66名

59.5%

試験官
利用済
当学院
現役
受講生

平成29年度 学科・設計製図試験

兵庫県 ストレート合格者占有率

(平成29年度
学科+設計製図)

58.5%

兵庫県ストレート合格者 53名中
当学院現役受講生 31名

※兵庫県合格率は、(公財)建築技術教育センター発表によるものです。※全国・兵庫県の合格率、ストレート合格率数は、(公財)建築技術教育センター発表に基づき算出。※学科・製図+ストレート合格者とは、平成29年度1級建築士学科試験に合格し、平成29年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※当学院の合格実績には、教員講師のみを受験生、教材購入者、資格の取得提供、過去受講生は一切含まれておりません。(平成29年12月21日現在)

無料 **講座説明会・体験学習会** **随時実施中!**

実績が証明した当学院講座の品質をぜひ体験してください

1級・2級 建築士	構造設計1級建築士	設備設計1級建築士
1級・2級 管工事施工管理技士	1級・2級 建築施工管理技士	1級・2級 土木施工管理技士
建築設備士	宅地建物取引士	インテリアコーディネーター



1級・2級 建築士

願書代 **0円** **願書** 取り寄せサービス **実施中!**

毎年ご好評をいただいている、**無料の願書取り寄せサービス**。ご友人の分や、会社の分のお取りまとめ等も承ります。当学院が願書をお渡しするので、**入手し忘れ心配無用**。

お申込み・ご相談は神戸校までお電話、またはメールにて送信ください

神戸校 tel.078-241-1711 mail.kohbe@shikaku.co.jp

QRコードでメールアドレス簡単入力



総合資格学院

神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F
TEL.078-241-1711

おかげさまで「1級建築士合格率日本一」を達成し続けています。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長



スクールサイト <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 検索
ホームページ <http://www.sogoshikaku.co.jp>
Facebook → /総合資格 16 で検索!